第94回草津ハイキング ～木瓜原（ぼけわら）製鉄遺跡を訪ねる 立命館大学グランド下に眠る古代遺跡とは！～

3 すべての人に健康と福祉を

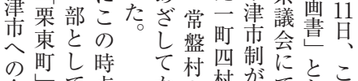
🕘11月13日㈬ 9：00～14：30
所 JR南草津駅～野路の一里塚～清宗塚～新宮神社～常徳寺～小守地蔵～野路の玉川跡～野路小野山製鉄遺跡～立命館大学木瓜原製鉄遺跡～コアステーション～嵐の中の母子像～製鉄炉地下保存施設～JR南草津駅（歩行距離約4㎞、健脚向き）
定 50人〔先着順〕　¥ 500円（保険料・資料代）、230円（バス代）別途要
他 雨天決行（当日7：00に気象庁の天気予報で警報が発表されたときは中止）
申 10月1日㈫～11月8日㈮〔必着〕に、開催日、参加者全員の住所・氏名・代表者の電話（ファクス）番号を書いて、往復はがきかファクス、Eメールで
申・問 •（一社）市観光物産協会（草津二、くさつ夢本陣2階）☎566-3219、FAX566-8000、✉info932@kanko-kusatsu.com
• 商工観光労政課（4階）☎561-2351、FAX561-2486

みなくさ・スイーツ・パーティー

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

市のおいしいスイーツが集まるスイーツ・マルシェを南草津で開催します。お気に入りのスイーツ“草津の推しスイーツ”を見つけに来てください！

🕘10月25日㈮ 15：00～19：00
所 フェリエ南草津1階（野路一）
問 草津ブランド推進協議会（4階、商工観光労政課内）☎561-2351、FAX561-2486



はじめてのスマートフォン体験型講習会

申・問 スマートフォン講習会受付窓口（平日9：00～18：00）
【固定電話・携帯電話から】☎0120-121-525
【IP電話（050）などから】☎050-3317-1545

バリアフリーに配慮した施設で、スマホの基本的な使い方から、LINEやインターネットの使い方などを学べる講習会を開催します。車いすや杖を使っている人でも気軽に参加できるよう、受講スペースを広く確保した会場で実施します。
申 10月7日㈪～、スマートフォン講習会受付窓口に問い合わせ番号（5304）を伝えてください

申し込みや詳しい講座内容などは、上記受付窓口にお問い合わせください。

● 講座内容
- 講座1　電源・ボタンの操作方法、電話・カメラの使用方法
- 講座2　アプリのインストール、インターネットの利用
- 講座3　地図アプリ、メッセージアプリの利用
- 講座4　マイナポータル、FUN+WALKの利用
- 講座5　ハザードマップの利用、デジタルリテラシーを身に付ける

※自身の理解度に合わせて、自由に組み合わせて受講できます

● スケジュール（予定）

とき	11月11日㈪	11月12日㈫	11月13日㈬	11月14日㈭	11月15日㈮
ところ	キラリエ草津（大路二）	キラリエ草津（大路二）	キラリエ草津（大路二）	市民交流プラザ（野路一）	市民交流プラザ（野路一）
機種	Android	iPhone	Android	Android	Android
午前	講座1	講座1	講座1	講座1	講座1
午後	講座2	講座3	講座4	講座3	講座5

※午前…9：30～12：00、午後…14：00～16：30

対 市内在住　定 各4人（先着順）　他 貸し出し用スマホを使用します
問 経営戦略課（7階）☎561-2326、FAX561-2489

就学時健康診断

3 すべての人に健康と福祉を

🕘11月12日㈫～14日㈭、19日㈫～21日㈭、26日㈫、27日㈬ 14：00～（受付13：30～14：45）
所 YMIT（ワイミット）アリーナ（野村三）
対 来年4月に小学校へ入学する子ども（平成30年4月2日～平成31年4月1日生）
他 • 受診日は、通知か市ホームページで確認してください
• 原則、指定日での受診や公共交通機関の利用に協力してください
問 学校教育課（6階）☎561-2421、FAX561-2488

性教育アップデート講座（男の子の性・女の子の性）

4 質の高い教育をみんなに

「男の子・女の子の性教育ってどうしたらいいの？」との質問はとても多いですが、主な違いは体の仕組みだけです。子どもたちが自分の性とからだを大切に思い、守れるように、親も学びましょう。そしてジェンダーバイアスについても理解を深めましょう。

● 講師　西村さつきさん（助産師）
🕘10月18日㈮ 10：00～11：30
所 キラリエ草津4階401会議室
対 小学校低学年までの保護者
定 20人程度〔先着順〕
申 10月1日㈫～、氏名・連絡先・子ども同伴の有無と年齢を伝えてください
申・問 男女共同参画センター（大路二、キラリエ草津5階）☎565-1550、FAX565-1518

草津市地域生活支援事業「ふくふくサロン」・「ふくふく相談会」のお知らせ

3 すべての人に健康と福祉を

● ふくふくサロン
障害者とその家族が地域で安心して暮らしていくための、情報共有や交流の場で、誰でも参加できます。

● ふくふく相談会
市内在住の障害者やその家族などからの相談に応じます（サロンと同日開催）。

🕘 ①10月9日㈬、②11月13日㈬、③12月11日㈬、④来年1月9日㈭ 10：30～12：00
所 ①志津まちづくりセンター（青地町）②キラリエ草津3階（大路二）③市民交流プラザ（野路一、フェリエ南草津5階）④常盤まちづくりセンター（志那中町）
定 ふくふくサロンは①④30人程度 ②③40人程度〔先着順〕
申 ふくふくサロンは開催日の3日前までに、申込書を書いて、障害者福祉センターにファクスで
申・問 障害者福祉センター（西渋川二、渋川福祉センター2階）☎569-0351、FAX569-0354
問 障害福祉課（1階）☎561-6972、FAX561-2480

KUSATSU 歴史ギャラリー　草津市、ついに誕生す―「草津市設置に関する申請書」　No.203

昭和29（1954）年10月15日、栗太郡の志津村・草津町・老上村・山田村・笠縫村・常盤村が合併し「草津市」が誕生しました。その準備が驚くべきスピード感で行われたことは、前回も紹介したとおりですが、今回取り上げるのは市の設置に当たって提出された「草津市設置に関する申請書」です。

「申請書」の正本は県に提出されたため、現在、市が所蔵しているのはその控に当たります。A5版、約240ページの冊子で、全編が謄写版（ガリ版）※で刷られています。

内容は草津市設置の理由書に始まり、新市設置についての各町村議会の議決書と会議録の写し、市名選定の理由、関係町村の現況や住民の意向などです。

理由書では、国鉄の電化進行をはじめ、交通の便が良くなっていること、上水道の完成が近いことを挙げて「京阪の住宅地帯として都市的形態が築かれることは必至」としています。その上で町村の合併により「農村地帯を合体」「農業経営の改善」を進め「京阪大消費地に直結」「供給源としての力を強化」して「名実ともに田園都市の名に副い、以て住民の福祉を増進し、行財政力を昂揚して、地方自治の確立を期するものである」と謳っています。

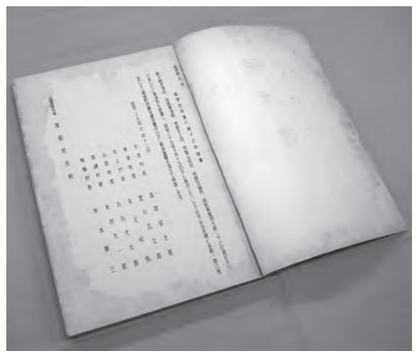
「草津市」の名付けの理由には「国鉄駅名を始め、各官衙がすべて草津の名称を冠し、而も草津は往古の昔から東海道・中仙道の分岐点で、交通の要衝で、東海道五十三次の宿場として、その名は天下に普く知られており、新市発展の表象として、合併促進協議会において満場一致選定された」とあります。

同年9月11日、この「申請書」が「草津市建設計画書」とともに県に提出され、24日には県議会にて可決。無事に10月15日から草津市制がスタートしました。県が示した一町四村からなる「草津町」案を一転、常盤村を加えた「草津市」の誕生をめざしてから、わずか51日目のことでした。

ちなみにこの時点では、渋川は「治田村」の一部として、同年10月1日に成立した「栗東町」となっています。住民らは草津市への合併を望んだものの、村を分かつ合併を認めない県の意向があったためです。約2年後の昭和31（1956）年9月1日、渋川地区は分離合併し、草津市となりました。

この「草津市設置に関する申請書」は、草津宿街道交流館で開催している秋季テーマ展「草津の70年」で展示しています。

※ロウ紙に鉄筆で文字を書き、インクで刷る印刷装置。コピー機の普及以前に広く使われた



▲「草津市設置に関する申請書」（草津市蔵）

問 草津宿街道交流館（草津三）☎567-0030、FAX567-0031